

東京学芸大学大学史資料室常設展示

Gakugei
Album
2024
Autumn

東京学芸大学のあゆみ
學藝アルバム



- 写真上:「開学祭に飾った本学正門」『学報』第48号(1958年6月)p.6
- 写真下:「旧図書館閲覧室」『昭和44年撮影 創立20年誌写真資料』(1969年)

大学での学びと学生生活

【会期】2024年10月15日(火)～12月20日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話] 042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、2021 年度より新たな試みとして、附属図書館 3 階に事務室と閲覧室を開設して、常設展示を行っています。これによって、大学史資料室の役割と機能は一層高まることとなりました。大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

常設展示は、年間テーマを設定し、1 年間で 4～6 月、7～9 月、10～12 月の三期に分けて展示内容を換えて行っています。そしてこれを 2 年サイクルで回し、1 年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2 年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

2024 年度の年間テーマは「東京学芸大学のあゆみ」で、第三期は 10 月 15 日(火)から展示を開始します。今回のタイトルは「大学での学びと学生生活」です。東京学芸大学は、1949 年の「国立学校設置法」により、東京都内の師範学校をもとに新制大学として成立しました。大学成立当初の組織は、旧師範学校所在地に置かれた分校・分教場の集合体でしたが、これらは順次廃止・統合され、最終的に 1964 年の小金井への統合をもって、現在のキャンパスの原型が形作られました。今回の展示では、大学の小金井統合前後の 1960 年代から 70 年代にかけての時期を中心に、大学において何が学ばれ、学生たちはどのような生活を送っていたのか、カリキュラムの変遷や、学生生活や授業、大学行事の様子などについて、当時の写真や資料から紐解いていきます。展示資料は、『東京学芸大学カリキュラム』、学寮・サークルなどの文集、開学祭・小金井祭のプログラムのほか、1960 年代の授業風景や行事の様子写真など、多岐に亘ります。また、2010 年に惜しまれつつ閉店した喫茶「茶夢」の看板やメニューなども特別に展示いたします。

昨年度、東京学芸大学は、1873 年に東京府小学教則講習所として設立されてから 150 年目の「創基 150 周年」を迎えました。常設展示は、東京学芸大学とその前身校、附属学校・園の歴史を振り返るものです。私たちは、過去から未来へと、小さくとも確実な歩みを進めています。ぜひとも、本学学生、卒業生、教職員、そして関係者のみなさんには、常設展示に映し出される東京学芸大学の歴史とそこで学んできた学生の姿に想いをはせていただければと存じます。

2024 年 10 月 15 日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

Gakugei
Album
2024
Autumn

東京学芸大学
のあゆみ
学芸
アルバム

